

# 安全だより(臨時号)

## 注意喚起!

安全管理委員会  
令和6年7月25日

令和6年度に入り、3か月余り経過しましたが、当センターの傷害事故件数が、早くも7件となり、昨年度1年間に発生した傷害事故件数6件を既に超えてしまいました。内訳は、転倒が3件、蜂刺されが2件、自転車事故が1件、熱中症が1件です。事故事例の概要を紹介しますので、今一度、就業している会員の皆さんの作業環境を総点検し、同様の事故を再発させないようお願いします

日時	傷害事故内容	事故の型
5月15日 (水)	手選別コンベアで作業中、キャスター付き台車を押している最中に、床に落ちたプラスチックトレイを踏み滑って転倒。左足首を骨折した。 ●足元に落ちていたゴミが放置されているのに気付かなかった。	転倒
5月29日 (水)	自転車で就業場所へ通う途中、就業場所の近くで周囲を確認せずに右折し、後方から来た車に接触して横転し、左腕等を切傷した。 ●右折時の後方確認を怠った。(かもしれない運転)	交通事故
6月18日 (火)	就業途上、大雨の中、傘を差しながら急な坂道を歩いていた時、マンホールの上で足を滑らせ転倒し、背骨を骨折した。 ●遅刻の可能性があり焦っていてマンホールに気づかなかった。	転倒
6月21日 (金)	雨の中、緑地施設の敷地内を巡回中、右足がぬかるみで滑り左足で踏ん張ろうとした時、左足首をひねった。 ●雨で地面が滑りやすいことを意識していなかった。	転倒
6月24日 (月)	就業中バリカンで生垣を刈込みしようとした時、生垣の中のハチの巣に気づかず左手甲を刺されてしまった。 ●作業前の点検と確認で、蜂の巣の有無を確認すべきだった。	蜂刺され
7月6日 (土)	日中気温が34度近くの中、駐輪指導のため駅周辺を巡回していた時、突然意識を失い、前かがみになり倒れた。 ●帽子・水分補給・塩飴等で対策をしていたが、気温が高くなっていったため、暑さに対する適応が追いつかなかった。	熱中症
7月10日 (水)	バリカンで生垣の刈込み作業中、生垣の奥のハチの巣に気づかず、蜂を追い出すことになり、別の作業者が左手小指を刺された。 ●作業前に確認を行ったが、結果的に不十分であった。	蜂刺され

会員の皆様には、今一度就業される際には、安全を最優先に日々の就業を行ってください。

特に今の時期は、熱中症には十分注意してください。

帽子・日傘着用などで日差しを避ける、こまめに水分を補給する、エアコン・クールタオルなどで体を冷やす、しっかり食事を摂る、十分な睡眠など予防できることを徹底しましょう。

